

# 事務事業チェックシートの見方

※評価対象外事業は、「事業進捗管理シート（事務事業チェックシート1枚目のみ）」を作成

事務事業No 事業名

分野別目標
政策
施策
基本方針

第4次和歌山市長期総合計画後期基本計画上の位置付けを記載しています。

事業種別	主な事務事業
事業期間	～
事業実施の根拠法令	
関連個別計画	
担当課・担当課長 (Tel)	
関連課	

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計			
	款			
	項			
	目			
	大事業			
	事項			

市長が掲げる「3つ約束」「44の約束」との関連性を表しています。

「3つの約束・44の約束」との関連性

	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
44の約束				

## 1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	事業内容				
	対象（誰・何）を「どういう状態にする」ために行う事業なのかを記載しています。	事務事業の全体内容、事業目的を達成するための手段を表しています。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	事務事業の年度ごとの実施内容を表しています。					

## 2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度				
		当初予算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費									
	伸び率 (%)									
	人件費	常勤職員								
		非常勤職員								
		小計								
	国庫支出金									
	県支出金									
	市債									
その他										
一般財源（税等）										
所要人数	常勤職員									
	非常勤職員									
主な予算内訳										

各年度ごとの事業費と人件費を表しています。事業費は人件費を除いたものを表し、人件費については平均給与と職員の当該事業への関与割合で計算したものを表しています。

「年度目標値」⇒各年度の目標値を表しています。  
 「実績値」⇒当該年度の実績値を表しています。  
 「年度別達成度」⇒各年度の目標に対する達成度（進捗率）を表しています。数値化できない指標は、A（事業が効率よくできた）、B（事業が概ね効率よくできた）、C（やり方を変える必要がある）で表しています。

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	年度目標値 実績値 年度別達成度					
成果指標	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度目標値	実績値	年度別達成度
	事業目的が達成されたかどうかを客観的に判断できる指標を表しています。また、下段には指標の単位、全体目標値、全体目標に対する進捗率を達成度として表しています。					

目的を達成するために市が行ったことを指標として表しています。また、下段には指標の単位、全体目標値、全体目標に対する進捗率を達成度として表しています。

事業目的が達成されたかどうかを客観的に判断できる指標を表しています。また、下段には指標の単位、全体目標値、全体目標に対する進捗率を達成度として表しています。

#### 4 事業の評価

評価基準

[妥当性]事業のニーズはあるか					減少している
[妥当性]事業手段は妥当か					見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か					市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正		負担は求められない	見直しが必要

「妥当性」、「有効性」、「効率性」の3つの視点からの事業の評価(点検)を行っています。該当するところに“○”を表しています。

#### 5 今後の方向性(担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

今後の事業の方向性について、「事業内容の方向性」と「コスト投入の方向性」から担当課が評価を行い、1箇所“○”を表しています。

担当課評価の根拠

上記の「今後の方向性(担当課評価)」を決定した根拠を表しています。

「見直し」「改善」案

事業を実施する上でこれまで行った「見直し」「改善」や今後の「見直し」「改善」予定の内容を表しています。